

第2学年 道徳科学習指導案

第2学年1組 28名

指導者 竹内 友梨

1 主題名 あたたかい 心

B-(6) 親切, 思いやり

身近にいる人に温かい心で接し, 親切にすること。

2 主題設定の理由

(1) ねらいや指導内容について

よりよい人間関係を築いていくためには, 温かい心で相手に接することや親切にしようとする気持ちが大切である。自分のことだけでなく, 相手の立場に立って考え, 行動しようとする気持ちが温かい心であり, 励まし合ったり助け合ったりする姿として表れていく。

親切, 思いやりの大切さを感じるとともに, 温かい心で接すると相手だけでなく自分の気持ちも心地よいものになると気付かせたい。相手の喜びを自分の喜びとして受け入れ, これからも思いやりのある行動をしていこうとする心情を育てたいと考え, 本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は, 明るく活動的で人と関わるのが好きである。1年生が入ってきてからはお兄さん, お姉さんとしての意識をもつようにもなった。1学期には, 学校探検の計画を立てたり, 実際に案内したりして優しく接していた。また, 休み時間には他学年といっしょに遊び, 上級生の優しさを感じて喜ぶ姿も見られる。

その反面, 相手の気持ちを考えずに自己中心的な言動をとってしまうこともある。友達との関わりが増えてくる中で, 小さい子に対しても学級の友達に対しても, まわりに目を向けて温かい心で親切にしようとする心情を育てたい。

(3) 教材について

(教材名「とくべつなたからもの」

出典:光文書院)

くまがかばんに宝物を集め喜んでいると, 穴に落ちたねずみの子に出会う。くまは宝物を捨て, かばんにねずみの子を入れて助け出す。ねずみの子が持っていたたった一つのどんぐりをくまは「とくべつなたからもの」と感じる。

相手の立場に立って行動するくまの姿, 感謝するねずみの言葉から, 親切にすることの大切さ, 互いの心地よさを味わうことのできる教材である。

生活と結びつけながら自分たちの行動や気持ちとも重ね合わせ, 態度化につなげたい。

(4) 語り合い・深め合う学びのための工夫

導入では, 温かい心に対するイメージを膨らませ, 生活と結びつけて考えられるようにする。イメージマップを活用して学級全体で考えを共有し, 道徳的価値への関心を高める。

くまがはっぱやどんぐりを拾ってかばんをいっぱいにする場面を動作化し, 大切な宝物だという気持ちに共感できるようにする。また, ねずみの子を助けたいと思いながらも, 宝物を捨てるかどうかで揺れ動くくまの気持ちについての考えを共有し, やはりねずみの子を助けることを選んだくまの思いやりの心に気づかせたい。ねずみの子からたった一つのどんぐりを受け取った場面では, くまが「とくべつなたからもの」だと思った理由を考え, ねずみの子を助けたことでくまも心地よさを味わっていると実感できるようにする。また, 登場人物の気持ちを考えるときにはハートカードを使い, 考えを可視化して共有する。

3 本時の学習

(1) ねらい

親切にすると互いに温かい心になることを理解し、身近な人に親切にしようとする心情を育てる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点 ☆評価
導入	1 温かい心について考える。	○友達にしてもらって温かい心になったことはありますか。 あたたかい心について 考えよう。	○生活と結びつけたことをイメージマップに示し、道徳的価値を押さえる。
展開	2 資料「とくべつな たからもの」を読み話し合う。 (1) かばんを宝物でいっぱいにしたときのくまの気持ちを考える。 (2) 宝物を捨ててねずみの子を助けるかどうかで揺れ動くくまの気持ちを考える。 (3) ねずみの子を助けたあとのくまの気持ちを考える。	○かばんを宝物でいっぱいにしたとき、くまくんはどんな気持ちだったのでしょうか。 ・たくさんあつまってうれしいな。 ・大切にしよう。 ○ねずみの子を見つけたとき、くまくんはどんなことを考えたでしょうか。 ・大へんだ。 ・はやくたすけないと。 ○ねずみの子がかばんに入れば助けられると気付いたとき、くまくんはどう考えたでしょうか。 ・どうしよう。・すてたくない。 ・ねずみくんをたすけないと。 ・またひろえばいい。 ○どうして「とくべつなたからもの」なのでしょう。 ・ぼくのためにもっていたから。 ・ありがとうが入っているから。 ・やさしさが入っているから。 ・たすけた思い出だから。	○動作化することで宝物を集めた喜びに共感させ、くまにとって大切な宝物であることを押さえる。 ○怖い思いをしているねずみの子の気持ちにも触れ、助けようとするくまの思いを押さえる。 ○ねずみの子を助けた気持ちと宝物を捨てたくない気持ちがあることに気付かせる。 ○役割演技をし、ねずみを助けたくまの心地よさに気付かせる。 ○「とくべつ」の意味を考えることで、互いに温かい気持ちになったことに気付かせる。
終末	3 学習を振り返る。	○学習を通して、思ったことや考えたことをノートに書きましょう。 ○「これから」「じぶんも」「わかった」「へんしん」を意識して考えてみましょう。	○自分の経験について思い出したり、これからの生活について考えたりできるようにする。

(3) 評価

☆ア 親切にすることのよさが分かったか。

(ノート・発言)

☆イ 友達の気持ちを考え、親切にしていこうとする気持ちが高まったか。(ノート・発言)